

鳩ヶ谷公民館だより

★ 今月の休館日 ★	
5日(月)	13日(火)
19日(月)	26日(月)



川口市立鳩ヶ谷公民館 川口市坂下町3-2-2 ☎048-285-1688
 ホームページ★<https://www.city.kawaguchi.lg.jp/soshiki/04010/020/8/29/index.html>
 編集・発行 鳩ヶ谷公民館長



鳩ヶ谷公民館からのお知らせ

鳩ヶ谷公民館が開館して、10ヶ月が経ちました。
 新しい利用団体の方々も増え、賑わいを見せています。
 お電話等の問い合わせも多数ありますので、新しく公民館を利用する場合についてまとめてみました。



まずは、下の「公民館利用の要件」をクリアしているか確認しましょう。

公民館利用の要件

- ・学習活動を目的とした5人以上の団体であること
- ・団体の構成人数の8割以上が市内在住であること
- ・団体の代表者が市内在住の成人であること
(講師は団体の代表者になれません)
- ・活動内容が公民館活動にふさわしいと判断できること
 - ・営利団体や宗教・政治団体ではなく、趣味を楽しんだり学習したりする活動
 - ・個人での活動ではなく、仲間と趣味を共有したり、一緒に楽しんだりできる活動

「公民館利用の要件」をクリアしていましたら、窓口にて「事前協議書」「ゲスト利用申請書」(日時・部屋を記入)を提出していただきます。

ご希望の日時・部屋が空いていましたら予約をお取りします。代金のお支払いをいただき、本予約終了となります。



よろしくお願いいたします。



おかめ市街頭補導にご協力ありがとうございました

川口市青少年保護育成本部及び鳩ヶ谷公民館地区青少年育成協議会では、去る12月24日（日）におかめ市に伴う補導本部を設置し、街頭補導を実施しました。

当日は多くの方が訪れるなか、鳩ヶ谷公民館地区内の自治会を始め、市内小中学校PTA、武南警察署、少年非行ボランティア連絡会、青少年育成推進員の皆様、約140名の協力により、大きなトラブルもなく無事に終了することが出来ました。

青少年育成協議会では、今後も関係機関と連携を取りながら、青少年の非行や被害を未然に防止し、青少年の健全育成に努めてまいります。



おやこの遊びひろば

☆お友達がほしい ☆お話ししたい ☆聞いてほしい

概ね3歳までのお子さんと保護者を対象に、遊びの広場として、子育て相談、情報交換の場を提供します。

毎回、専門の保育士がお待ちしています。

- 会 場 鳩ヶ谷公民館 2階 日本間
- 開催日時 金曜日 9:00~12:00
- 問合せ 子育て支援課 ☎048-258-1112



参加費無料、時間内出入り自由です。

2月	2日	9日	16日		
3月	1日	8日	15日	22日	29日

令和6年能登半島地震災害義援金に係る義援金箱の設置について

鳩ヶ谷公民館事務所窓口にて、令和6年能登半島地震災害に対する義援金を受けております。皆様のご協力をお願いいたします。
(川口市)

※ お寄せいただいた義援金は、日本赤十字社を通じて全額を被災された方々へお届けいたします。



鳩ヶ谷公民館地区レクリエーション協会からのお知らせ



- ◎ 3月の大会 (お問い合わせは各自治会までお願いします。)
- ◆ 3月3日(日) 鳩ヶ谷公民館地区「ミニテニス・スポレック」大会
鳩ヶ谷スポーツセンター

鳩ヶ谷公民館をご利用の団体の皆様へ

原稿募集中

鳩ヶ谷公民館では、毎月発行している「公民館だより」に各団体の紹介やメンバー募集等を掲載しています。希望される団体は、以下の項目をお読みになり申し込みをしてください。

- ・掲載の大きさ…最大A5サイズまで。
- ・データではなく、紙原稿をお願いします。
 - ・A5サイズにこちらで調整しますので、多少の大・小は可。
(原稿の向きは横で)
 - ・「公民館だより」は、白黒ですが、「ホームページ」には、カラーで掲載されますのでカラーの方が良いかと思えます。
- ・希望される団体が多い場合、翌月掲載とならない場合があります。



英会話



パソコン教室



フラダンス

ヨガ



地震がおきたら...

緊急地震速報



強い揺れが予想される数秒から数十秒前に、テレビやラジオ、市の防災行政無線や携帯電話等で「間もなく強い揺れがくること」を知らせてくれます。ただし、震源に近い地域では、強い揺れに間に合わないことがあります。

地震発生

地震だ！身を守れ！

強い地震を感じたら、まずは自分の身を守りましょう。

- 机の下などへ避難しましょう。
- 家具の転倒、ガラスの飛散や落下物などに注意しましょう。

地震発生から
1~2分

火の元よし！家族は無事かな？

揺れが収まってきたら、火の元を確認して避難経路を確保しましょう。

- 火を消し、ガスの元栓を閉めましょう。
- ドア等を開けて、避難経路を確保しましょう。



逃げる前に持ち物チェック

地震発生から
2~10分

避難経路を確保した後は、避難の準備をしましょう。

- 非常持出品を用意しましょう。
- 家が倒壊しそうな時など、家にいることが危険な時は、一とき避難広場(公園)に避難して余震に備えましょう。
- 出火防止のため、電気のブレーカーを切りましょう。
- 自宅を離れるときは、行き先を書いたメモを家族で決めた場所に隠しましょう。



地震発生から
数時間

お隣さんは大丈夫かな？

- 隣近所の安全の確認をしましょう。
- 一人暮らしのお年寄りなど、避難に周囲の支援が必要な場合には積極的に声をかけて安否を確認しましょう。
- 近隣住民と協力して、初期消火や救出活動をしましょう。
- ラジオやインターネット等で災害や被害情報を確認しましょう。

地震発生から
数時間~

避難生活への移行

- 状況が落ち着いてきたら、自宅の被害状況等を確認し、今後の避難生活をどうするか、判断しましょう。
- 自宅に入る前には、建物や周りの安全を確認し、余震にも十分注意しましょう。
- 避難生活では「分散避難」にご協力をお願いします。

